

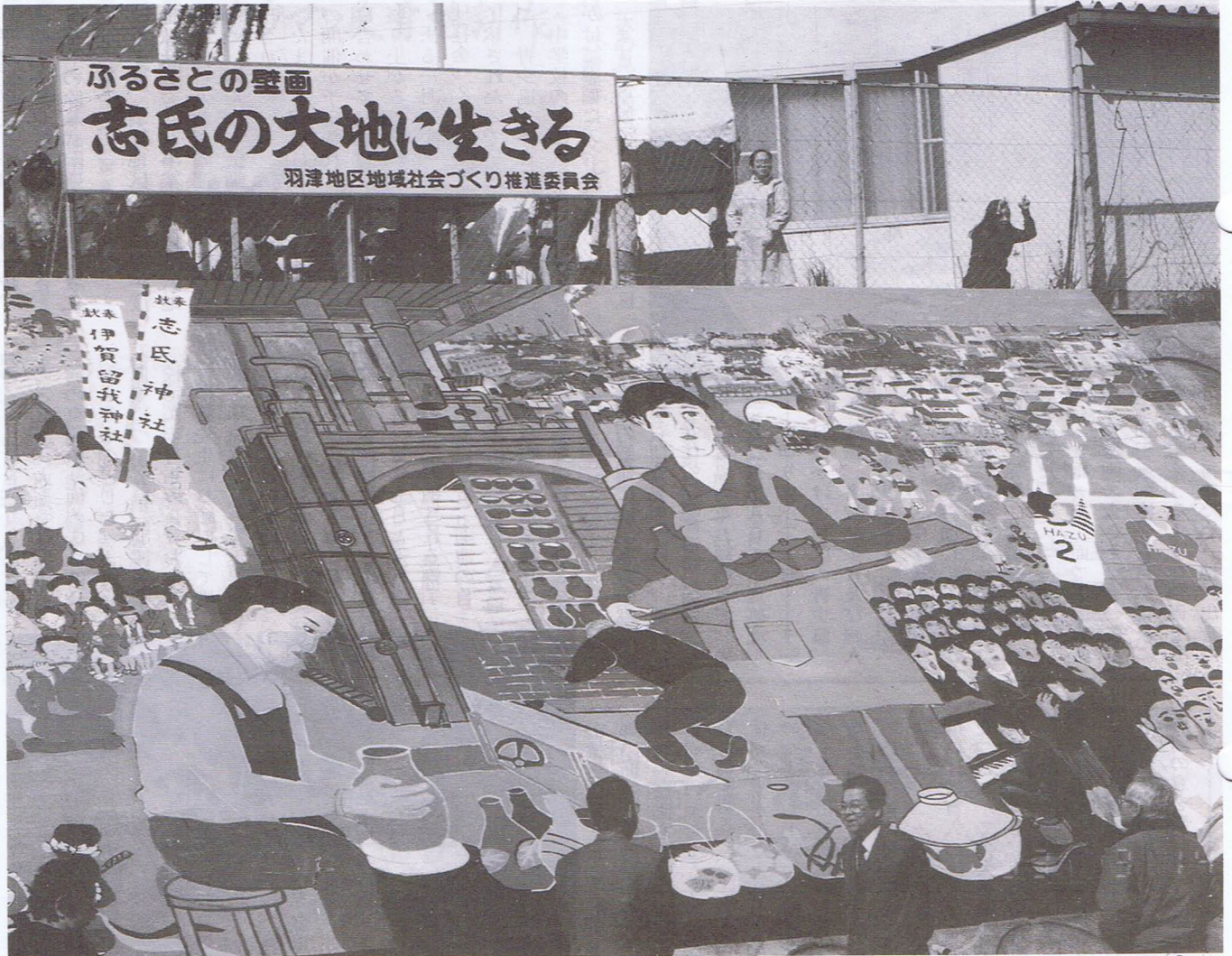
地区広報

はづ

No.25

羽津地区市民センター
羽津地区社会福祉協議会

平成5年3月25日



羽津に新名所出現！

ふるさとの壁画完成



羽津地区人口 総数14,794人 男7,532人 女7,262人 世帯数5,018世帯 (H.5.2末現在)

羽津地区

地域社会づくり事業の展開

羽津地区地域社会づくり推進委員会



原画づくり

平成五年三月十四日午前十時、多勢の人が見守るなか、「ふるさと壁画」の除幕式が盛大に挙行された。

昨年末、羽津地区の平成四年度地域社会づくり事業について、地区に住む人たちの連帯感を高めるため、みんなで壁画づくりの案が出された。

たまたま、三月には地区文化祭の開催が予定されており、この日に合わせて完成できれば文化祭も盛り上がる予測された。

去る一月二十一日に開かれた地域社会づくり推進委員会に提案し、了承されたので早速実行委員として、青少協、体育振興会、小学校・中学校のPTAの各役員に呼びかけて準備に入った。

まず、壁画のテーマとして地区

のイメージを盛りこんだものとして、大きさは羽津会館の東側のり面の広さに合わせたものとした。また、原案については、羽津中学校で美術を指導しておられる伊藤先生にお願いして構想を練っていただいた結果、「羽津、志氏の大地に生きる人々」のテーマで、羽津地区の伝統産業である万古焼や、伝統的文化として継承され、毎年七月と十月に志氏神社に奉納される獅子舞を中心にして、羽津の自然・文化・歴史を盛り込み、過去・現在・未来を織りこんだ多彩な内容のものとなった。



一生懸命取り組んで

壁画の製作には、原案の段階から伊藤先生のほか、地区に在住の絵画に造詣の深い方々にご協力をお願いして、去る二月十八日の下地処理を皮切りに、二十日・二十一日にかけて地区の青少協、体振、各校PTA及び婦人会、青年団など、各種団体、それに小・中学校の児童生徒多数が参加して、各自が一筆に精魂をこめて作図に取り組み、立派な壁画が完成した。

また、施工面で設置場所や壁画の大きさなど、安全面への配慮から自然現象にも耐えうるような強固なものとするため、地区出身の

市議会議員を介して市の建築指導課の助言を受けながら施工した。

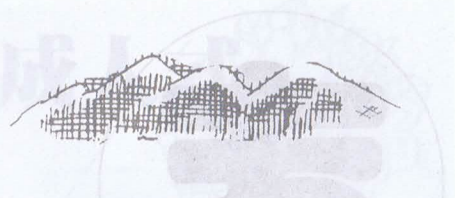
この壁画を見て、自分たちの住む羽津のまちをもう一度見直してもらい、明るく、住みよい、住んでよかったまちづくりのため立ち上がった頂ければ、本当に意義深いものがあるのではないだろうか。

終わりに、計画から完成まで僅か二ヶ月という短期間に延数百人のエネルギーをつぎこんでの大事業が完成できたのも、絵の指導をして頂いた諸先生及び地区の各種団体の役員皆さんの献身的な奉仕のご協力があったからであり、心から感謝の意を表したいと思う。



いよいよ取り付け作業

はづのまち
小型トラックの荷台で
ゆるやかに運ばれる
万古焼
この町へ
ねっこをおろして十二年
ことも達は
はづのまちで育った
青い空 志氏の大地
雄大な鈴鹿山脈を望んで
春のあぜ道やわらかく
夏はせみとり かぶとむし
庭の草木が季節をつけて
夢をはぐくむ
はづのまち
ことも達の心に
あったかい
ふるさとをのこしたい



志氏の大地に生きる

地域の連帯と心ふれあう地域社会実現のため「羽津地区地域社会づくり推進委員会」があります。住みよいまち、住んでよかつたまち、そんな「はづのまち」を願って「ふるさと壁画」ができてきました。

縦六メートル、横十二メートルの巨大な壁画です。この壁画には、羽津の自然、文化、産業、歴史、生活などが描かれています。子供から大人まで多勢の参加者ひとりひとりが羽津の発展を願い、ふるさとへの思いを一筆一筆かきあげたものです。ぜひ一度ご覧下さい。



先進地視察研修に参加して

地域社会づくり推進委員 田中逸夫

去る一月十九日、市内各地区から二名の地域社会づくり推進委員と市職員五名、計五十名が浜松市の文化施設を視察研修しました。

まず「浜松まつり会館」では、毎年五月三・四・五日に行われる凧合戦のビデオと、これに使用された色とりどりの凧のほか、屋台展示と凧系製造実演室などを見学しました。四百三十

市制70周年記念にふるさと創生事業 (伊佐見地区) ナウマン象骨格制作



展」が開催された大ホールや、作品搬入用の大エレベーター(定員六十五名)には驚きました。各サークルが使用する和洋室や多目的ホール、料理教室、会議室など、利用率も高いそうで、私たちが見学したのは平日でしたが、多くの方が利用していました。何はともあれ素晴らしい施設に圧倒されました。

最後の研修地「伊佐見公民館」は平成四年五月に竣工した立派な建物です。ここは浜松市の各地に二十三あるものの一つで、公民館と体育館が併設されておりました。また、当地区で約七十年前に出土したナウマン象の骨格標本が復元展示してありました。

ふるさと創生の一環として、各種団体で構成した実行委員会と、住民が一体となって作り上げたものだそうです。

余年の伝統のある祭に、住民がこの三日間にみながるエネルギーを発散させ、地域の連帯と親睦を深め合うであろうと想像して感激した次第です。

祭好きの私は地元に住民が一体

品搬入用の大エレベーター(定員六十五名)には驚きました。各サークルが使用する和洋室や多目的ホール、料理教室、会議室など、利用率も高いそうで、私

羽津地区の三分の二の人口のこの地区に、体育館つきの公民館があることを非常に羨しく思いました。この視察研修を通じ学んだことを今後の地域社会づくりに反映させていきたいと思えます。

不思議な因縁

羽津山町 村井道洲

お釈迦さまの一説に、縁によって生まれたものが、互いに関連をもたねながら縁によってかたちを変えていくという「諸法皆是因縁生」縁起の教えがあります。

私は京都伏見の競馬場有名な淀町で生まれ、五歳のとき父親に死別しました。七人兄弟の三男の私が正法寺の先代村井泰洲師の弟子として貰われてきました。これが私が羽津の住人となった縁であります。幸いにして、私の実母は先代泰洲師の姉に当たりました。私は当時俗人安達秀夫でした。

曹洞宗大本山永平寺と大本山総持寺安居(修行)四年、そして住職の資格をとりました。その後、富田の長興寺住職となりましたが、寺は無住寺で荒廃、信徒もなく、食事代もままならず困窮しましたが、富田の皆様のご厚意で除々に生活に余裕ができてまいり自治会(町内会)のご尽力で本堂庫裡を大修理してやっと寺院らしくなりました。まもなく、正法寺先代泰洲師大和尚老師が、昭和五十年七月六日に逝去しましたので、急速正法寺へ転任して羽津の住人となりました。

長興寺在職中、私は昭和四十八年六月から保護司をしていました。が、羽津へ移ってから引き続き先輩の方々と共に保護司として、対象者の保護厚生に全力を尽くして奉仕させて頂いております。

幸い健康に恵まれましたが、これからは地区の皆さんのために、又自分のためにもますます頑張りたいと思っております。よろしくお祈りいたします。



桜の開花が待ち遠しいピカピカの
の新一年生。内條さん御夫妻の間に
に生まれた四つ子ちゃん。この四月
月に羽津北小学校に入学します。
インフルエンザの大流行にもめ
げず、病気にさらすの元気な四つ子
ちゃんを御夫妻にインタビューし
ました。

Q・一人でも大変なの
に四人の子育て大変だっ
たでしょうね。

(奥様)「主人が、子育て
に非常に協力的でしたので
とても感謝しています。
もし、子供が二人でしたら、
こんなに協力してくれな
かったかもしれませ
ん。主人が、仕事で交替
勤務の時、私が一人でお
風呂にいれました。夏はのぼせて
しまいそうでした。」

インタビューの間もお父さんの
そばを離れない四つ子ちゃん。「か
たぐるまして!」とねだる子供た
ちにお父さんはイヤな顔一つせず

訪問インタビュー
四つ子ちゃん
入学おめでとう!



遊んでいました。
Q・四人の子供たちが、一度に
はしかなにかかったことは?
「はしかなど予防接種でかかって
しまい、四人とも風邪もひきませ
ん。かかって二人まででほん

うに元気です。」
内條さんちの四つ子ちゃんプロ
フィール。(下表参照)
幼稚園では、健くんと愛ちゃん、
康くんと好ちゃんが同じクラス。
けんかをするとなぜかこのペアで

	好きな食べもの	好きなテレビ番組	大きくなったら...
だけし 健くん	ラーメン アイスクリーム カレーライス ホットケーキ	「ジャンパーソン」	マラソン選手
やし 康くん	ハンバーグ	「ダイレンジャー」	サッカー選手
このみ 好ちゃん	なんでも食べます	「セーラームーン」	うーんと、 なにになろうかな
まなみ 愛ちゃん	ステーキ いくら	「セーラームーン」	なりたいものがた くさんありすぎて こまっちゃうな

対決。はたしてどちらが勝つか
な?
インタビューの途中、康くんは
健くんがもらったバレンタインチ
ョコレートを自分のことのように
うれしそうに見せてくれました。
ほほえましい内條さん御一家。
それぞれに個性豊かな四つ子ち
ゃん。四人の御子様、スクスクと
成長されることを願って、いつま
でもお・し・あ・わ・せ・に♡♡♡

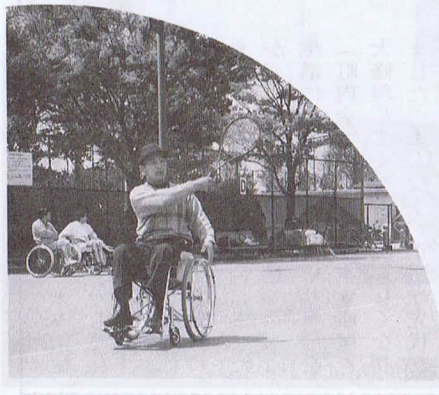
美しい出会い
八田二丁目
田中 秀男

昭和四十七年九月四日、この日
は私の家族にとって一生忘れ
られない日であります。
自家用車を修理中その下敷きと
なり、救急車で病院へ運びこま
れました。その結果「外傷性脊髄損
傷」と診断され、車椅子に頼る生
活をしなければならなくなりました。
その時の心境は、私は勿論、
家族にとっても只茫然とするだけ
でした。

病院を退院後、何か自分に生き
甲斐をと、今のプレス加工をお世
話になりました。当時私は一生社
会のために役立てる身体ではない
と思っており、一番最初に納品さ
せてもらった時、車椅子の身体で
もこの社会で信用してもらえ有
難みを痛感しました。

あれから二十年、何か苦しい時
にはその当事を思い起こして鞭打
っております。

障害者の仲間から車椅子テニス
に誘われ、週二回障害者体育館へ
通っています。以前は障害者にと
っては厳しい環境の社会でしたが、



今では自動車にも乗り、スポーツ
施設も完備され有難い時代です。
先日モ志摩の民間のテニスコ
ートを借りて講習会を開いた時のこ
とです。パールロードを横断して
コートへ入ろうとしたところ、三
十センチ程の段差があり、思案を
していました時、後から若い女性
が近づいて「大変ですね、こんな
段差があるからね。大丈夫ですか」
と車椅子を上げて助けてくれました。
そして急いで立ち去って行き
ました。お礼を言いながら見送っ
ていると、その女性はすぐ後の交
差点内にドアを開けたまま止めて
いた車に飛び乗る様にして走り去
りました。おそらく通りがかりに
私が難儀しているのを見かねて、
助けに来てくれたものと思います。
本当に頭の下る思いでした。

今年十月、四日市中央緑地体育
館で、東海車椅子テニス大会が開
催されます。多くのボランティア
の方々にお世話になると思います
ので、ご協力をお願いしあげま
す。

ま
ち
の

成人式
おめでとう

スポーツおじさん
めざして!!
田中 克幸

二十年後の自分など想像もつ
かないけれど、多分考えられる
ことと言えば、四十歳の自分が
いて、お嫁さんがいて子供が2
人か3人、といったこと、多分
思いたくもないけど、少し頭が
うすくなっていたりするかもし
れない。

自分の夢としては、日曜大工
が好きなので、家中、自分で作
った物でいっぱいになりたいと思
う。

それに、スポーツが好きでテ
ニス、スキーなど、これから歳
をとっても、家族といっしょに
出かけられるスポーツマンのお
じさんになりたい。

「なじみの店」
がもちたいな
藤井 善江

夢いっぱい20年後を想像す
るなら、家庭に入って専業主婦
をしているのではなく、結婚し
ていても自立した女性として活
躍していきたいと思う。

成人式を向えて
20年後の私

二十年後じゃなくても、三十
年後、又八十歳のおじいちゃん
になっても、子供たちと走り回
れるように今から体を鍛え、い
ろんなことを吸収したい。
二十年たった時、充実した二
十年だったと思いたい。
そのためにも、これから一日
一分一秒を大切に一生懸命生き
ていきたいと思う。



話

甲子園での
活躍を期待!
別名五丁目
鈴木 一郎君
を訪ねて

今春の全国選抜高校野球大会に、
東海ブロックから海星高校野球部
が出場します。別名五丁目の鈴木
由之さんの長男 一郎君は同高校野
球部の正二塁手として、参加する
ことになりました。

一郎君は小学校三年生のとき、
笹川から現在地に引越すと同時
に羽津北野球少年団に入団。中学
時代はエースとして活躍、東海ブ
ロック大会では準優勝しました。
海星高校野球部では、二塁手で
右投げ、左打ちで六番バッター、
ミート打法が得意だそうです。



現在は朝早く家を出て、夜は八
時半頃帰宅、正月も殆ど休みなし
で練習に明け暮れています。
両親は怪我のないように、また
栄養のバランスを考えながら、健
康でプレーすること、そして悔い
のない試合をしてくれることを望
んでいるそうです。
頑張れ 一郎君! 活躍を祈っ
ています。

題

羽津地区ボランティア「ふれあいの会」では、去年十一月十九日ひとり暮らし老人との懇親会をもちました。一ヶ月前から計画を立て、保健婦さん、民生委員さん、ヘルパーさんにご協力いただきました。

当日は午前十時から美空ひばり、高田浩吉主演の映画「とんぼ返り道中」鑑賞でお楽しみいただき、昼食には在宅栄養士さんに献立



おいしい料理よ……

ひとり暮らし老人との懇親会



はずかしがらずに健康体操

をお願いして、栄養面、おいしさ、楽しさをプラスしてもらい、ちらし寿司、牛乳入り卵豆腐、野菜の沢煮椀、道明寺粉餅を手作りしました。このためにボランティア全員は保健所の検便も実施しました。

保健婦さんの健康指導で楽しいひとときが過ぎ、度々このような会を催してもらいたい、との要望のなか、和気あいあいとした懇親会をもつことができました。



伊勢型紙で年賀状を作り、ひとり暮らしや、ねたきり老人へ差し出す年賀状作りに取り組む「ふれあいの会」の皆さん。三年前から毎年、心をこめて送っています。



火災から守れ！ 文化財防火デー



第13回 羽津地区

文化祭



かわいい作品がいっぱい！

地区

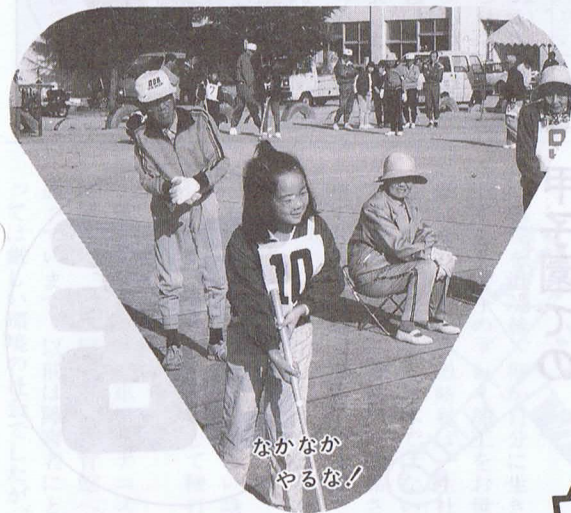
行事

ア
ル

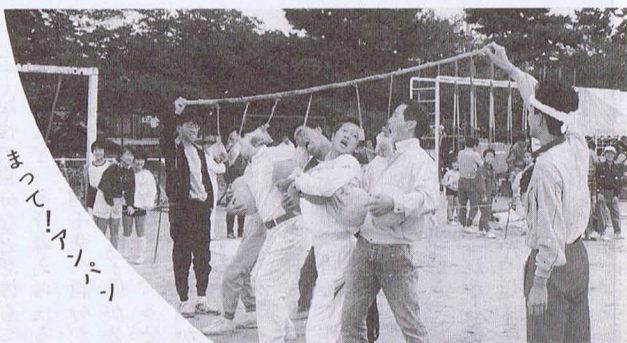
パ
ム



ダッシュ！



なかなかやるな！



まのしんぶん



あ！ お尻が、技・け・な・い



仲良くインディアカ

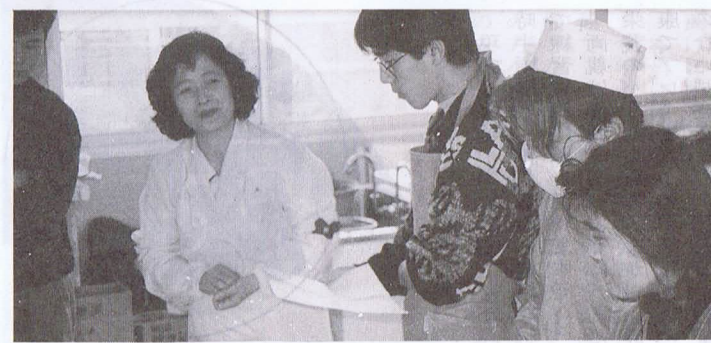
スポーツ少年団
だより

十二月六日(日)、団員百三十名が羽津北小学校グラウンドに集合しました。午前中は体力測定。十名の父兄の審判のもと、腹筋、背筋、反復横とび、立幅とび、五分間走の五種目を測定します。その結果を五角形の図で表わし年齢に応じた体力をみる訳ですが、最近の子どもは全体に走る力は優れて

いるが、跳ぶ力が衰えているように見受けられます。

お昼は、お母さん方のお世話で豚汁をいただきました。運動の後、外で食べる豚汁は格別おいしいようで、大鍋三杯があつという間になくなりました。午後はドッチボール大会。男子三チーム、女子一チームの四チームで対戦しました。最後に、男子高学年チームと父母チームが対戦しましたが、息子たちの強いボールに手も足も出なくて父母チームが負けてしまいました。

青年団アレルギー教室





羽津郷土研究会
森 元 三

今回は員弁街道を紹介し、起点である「金場」についてですが、この町は南の三ツ谷から北の吹戸橋までの百メートル程で、旧東海道と現国道一号線とは重複しています。

道路の西側は城山町となり、東側は金場町としてその名が残っています。なお位置は変わっていますが、金場地蔵が昔をしのばせます。金場から阿下（城山町）のドンド場までの百メートルほどの間には、石橋のかかった清水川が流れ、その下の水はすくって飲みそうなほど清く、辺りには青い水草が繁り、メダカや水すまし、トンボが水くみをするように飛び回っていました。

「金場」の名の起りですが、明治元年には家六軒とあります。同二十年頃から急に移り住む人がふえ、浮世街と言われるほどとなりました。特に、賭博好きの者が東側の町に集まり、大金持ちの夢を見て金が動く場として近在に有名となり、いつか「金場」となりました。この点、他所にある金鑄場の変わり名では無いようです。三ツ谷は、上総一宮加納藩領で

「従是北桑名領」の石碑が、二重川の地蔵さんと向かい合っており、西側に立っていた。その隣の濃州街道に曲がる角の家は、茅葺屋根で、その廂の瓦屋根の棟に「土偶の翁」が恐ろしい顔で、下を通る人をにらんでいましたが、村界の賽の神の役割をしていたものと思われま

す。その下の道標石は、「左大夫知、右桑名」と始発点を示し、大正十二年一月除雪記念、羽津四区と深く刻まれています。

員弁街道は、大矢知、員弁を経て、美濃関ヶ原に通じ、新濃州街道と言うのがはじまりで、当初は元録五・六年（二六九二）開通の羽津用水の堤塘を道として、朝明川の堤まで延びていました。その後、交通量に応じて拡幅修理が繰り返されたあとがうかがえます。

そして、大正十一年には、四日市市／梅戸井間にバスが開通しています。（以下次回へ）

瓦の「翁」
天保三年 瓦屋惣二郎作



はづの
サークル紹介

篆刻

篆刻は中国でも最も古い篆書という文字を使って、それを一定寸法の素材の世界に閉じこめ（刻みこむ）、そこにひとつの天地を造形しようとする芸術です。篆書という古典文字が持っている独特の造形性が無

大正琴

楽器を弾くなど考えてもみなかつたけれど、大正琴の音色と人々とのふれ合いの温かき、そして、なによりも毎日の生活に楽しみがふえました。楽譜も簡単で、初心者の方もすぐに弾けるようになります。和洋楽器との合奏、カラオケの伴奏、舞踏の伴奏など多彩に楽しめます。健康増進のためにもぜひお始め下さい。



ければ、印面の空間は支えきれなくなってしまう。そういうことから古代人がその文字に込めた心をくんで、作品に仕上げるのが大切といわれています。興味のある方はサークルへお問い合わせ下さい。

編集後記

地区広報第二十五号をお届けします。年二回の地区広報ですが、一年を終え、広報委員一同ホッとしています。ところで壁画は、もうご覧になられたでしょうか。「志氏の大地に生きる」知らなかった羽津の歴史や文化が描かれ、羽津というふるさとへのおもしろい心あたたまる気がします。まちがっても落書きなどとしてほしくないですね。

編集委員

- 山本 鉄男・田中 逸夫
 - 内田 節子・井上キヨ子
 - 伊藤 米吉・藤井 裕通
 - 菊池 栄子・山田 幸子
 - 天春さつ子・森 昌代
- 羽津地区市民センター

